

平成30年度 長野県諏訪二葉高等学校同窓会東京支部総会参加報告

平成30年5月19日（土曜日）の長野県諏訪二葉高等学校同窓会東京支部総会にご招待いただき、守屋校長、岸会長、味澤副会長、武藤副会長、石澤副会長の4名で参加しました。

会場は東京都千代田区九段北の「アルカディア市ヶ谷」で、中央線の市ヶ谷駅から数分の距離に数人の案内の方が居て丁寧に案内していただきました。その道中、懐かしい方々やご講演いただく二木元美術科先生とも一緒になり、早朝の雨が上がった晴天同様、私達の気分も初めての参加で緊張の気分から再会の嬉しさに変わりました。

ひと月前の諏訪での定期総会を凌ぐ位の盛大な支部総会で、参加者130名余で、聞きしに勝る盛会でした。東京支部の皆様の二葉への熱い想いに終始圧倒されっぱなしでした。また、同窓会運営について参考になる事項があり、連携して頑張っていければと思いました。

第一部の定期総会は校歌斉唱、物故者への黙禱に続き、五味支部長の挨拶では、昨年数多くの二葉出身の活躍されている方達との出会いが紹介され、二葉は意外な所で繋がっている驚きを語られました。それにしても、悩みは活発な東京支部も例外ではなく、会員減少への対応（若い世代の開拓）と時代に合った運営への改革（役員の負担軽減）と言う事で、今年の事業計画も昨年を継承していく旨の説明がありました。

続いて来賓紹介と挨拶があり、守屋校長からは出身地が原村であり、二葉が恐らく最後の任地となる事や、教育目標（自主、努力、感謝）の意義を熱く語られました。また、資料に基づいて現在の二葉生の活躍や少子化による諏訪地域の高校の第2期再編計画への懸念について説明されました。

そして役員を代表して岸会長からは、支部総会の開催の祝辞と東京支部の活発な活動への敬意と感謝、皆様のご活躍とご健康をお祈りし、これからの本部活動についての決意を表明しました。

議事では平成29年度役の事業報告、会計報告、監査報告があり、役員会等の活動日を全て土日に行ったり、50年間据え置きだった会費の値上げの実施が説明されました。その後、平成30年年度の役員紹介があり、事業計画、予算案が説明されました。

議事では細部に渡っての質疑応答や意見を、多数の参加者が世代を超えて堂々と語られる姿に圧倒されました。

第二部の講演会は二木六徳元美術科先生による「二葉の22年」の講演。

冒頭で議事での活発な意見交換に触れられ、それこそが二葉の伝統で、組織として同窓会が向上・継続していく基になっていると感心されていました。

そして山の歌で張りのある良い歌声を披露されて講演は始まり、二葉を「学ぶべき学び舎」と仰って校舎を大切に思い、風景を愛し、そこからの眺めをどんなに愛でていたか、お子様誕生で絵本の世界に魅せられて行った事、記憶に残る生徒の作品や二葉祭のポスターについてご用意のスライドに沿って語られて、情熱を傾けてご指導されていた事が伝わってきまし

た。終始和やかな雰囲気の中、ご教示いただいていた頃と変わらぬ熱い二葉愛溢れる講演で懐かしく、みんな「今の生徒にも聞いて貰いたい」と囁き合っていました。

第3部の傘寿を祝う会は、「白き翼」斉唱と高校9回生への花束贈呈後、傘寿代表の千田洋子様（平成29年度秋の褒賞受賞者）によるご挨拶があり、傘寿の皆様から東京支部への寄付金が贈られました。傘寿の皆様のお姿が、頼もしく感じられました。

そして「信濃の国」を斉唱、伴奏なしでしたが、大きな歌声が会場一杯に響き渡りました。

閉会后、同期の出席者と暫し旧交を温め、次の再会を約して帰途につきました。

（記録：石澤路子）